



除幕された広報掲示板MOMIJI。指導した岡山県立大学の村木准教授は「デザインしたものが現実にでき、学生たちにはとても良い経験でした」と話した。デザインしたのは、岡山県立大学デザイン学部デザイン工学科プロダクトデザインコースの高橋ひとみさん、松永大樹さん、金藤龍二さん、馬場敏也さん、佐古亜沙美さんの5人

県立大生のデザインを採用

広報掲示板「MOMIJI」

市の木のモミジをモチーフにした広報掲示板が岡谷分館に登場しました。

これは、岡山県立大学デザイン学部デザイン工学科3年の学生が、実習の一環で広報掲示板のデザインを市に提案したなかの一つ。柱はモミジの幹や枝をイメージし、モミジの葉の形をしたマグネットで掲示物を張るというものです。市はこのデザインを採用し、設置しました。

3月28日には、地元住民と関係者にお披露目されました。「周囲の景観に合い、とてもアイデアがいいですね」と評判でした。



4月6日には、自身の書に向き合う姿勢について、高木聖鶴さんが講演した



愛用の硯を興味深く見入る人たち



初日から多くの人が訪れ、高木聖鶴さんのかな美の世界に引き込まれていた

おめでとうございます

野津さん 石井さん 100歳の祝い

3月18日に野津實さん(真壁)が、3月28日には石井富美家さん(久米)がともに満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。

ピアノの講師をしていた野津さんは、毎日1時間のピアノ練習が日課。長寿の秘訣については、「くよくよせず、好きなことをすること」と話してくれました。

石井さんは話好きで、穏やかで、やさしいとの評判。長寿の秘訣は、「質素な生活をしてきたことと、毎日を、楽しく生活することかな」と話してくれました。



誕生日を祝福され、喜ぶ石井富美家さん



お祝いに訪れた人にピアノを披露した野津實さん

現代感覚あふれる優美な書を堪能

文化功労者 高木聖鶴 書の世界展

「文化功労者 高木聖鶴 書の世界展」が3月25日から4月13日まで、岡山県立美術館で開かれました。

展示されたのは、日展の内閣総理大臣賞や日本芸術院賞の受賞作品などの代表作約170点。市の名誉市民であり、郷土が誇る書家の作品にふれようと初日から多くの愛好家が訪れ、情感を秘め、現代感覚にあふれ、優美さと鋭さを兼ね備えた格調の高い書に魅了されていました。

オープニングセレモニーで高木聖鶴さん(真壁)は、「作品には、納得のいかないものもあるけれど、書を生涯学習と決め、日々修行、勉強していきたい」と話し、書の美を追求する気持ちが伝わってきました。

Photo News



展示品に見入る人たち

ミニフォト

たたら場の覆い屋が完成



鬼ノ城のふもとに建つ

4月5日、日本古来の製鉄方法のたたらに毎年挑む鬼ノ城たたら倶楽部は、奥坂地内にたたら場の覆い屋を完成させ、落成式を行いました。越し屋根付きの方形で、高さ5.5mのもの。今秋のたたら操業から本格的に使用する予定です。

ヒイゴ池湿地の保全に役立てて



児童の代表から手渡された

3月14日、ヒイゴ池湿地の貴重な動植物を守ってほしいと、総社北小学校6年生が空き缶拾いやバザーなどで得たお金を北の吉備路保全協会に寄付。同協会は、この寄付金で同湿地に写真付きの説明板を設置したいと話していました。

健康をチェック



食事バランスのチェックをする参加者

健康について考えてみようとして、山手健康福祉フェア3月16日、山手公民館で開かれました。訪れた人は、足の裏チェックや食事のバランスチェックなどを体験。楽しみながら、自身の健康状態をチェックしていました。

地域ぐるみでの子育て支援を



人形劇を楽しむ人たち

子育て応援団キャンペーンinそうじゃが3月16日、天満屋ハピータウンリブ総社店で開かれました。訪れた人は、人形劇やバルーン遊びを楽しんだり、地域ぐるみで取り組む子育て支援活動のパネル展示に見入ったりしていました。

写真に込められた橋本元首相の思い...

橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ展

市の名誉市民である故橋本龍太郎さんの「地球家族バンザイ 橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ展」が4月6日、林原美術館で始まりました。

展示されたのは、刀剣をはじめ、愛用のカメラと剣道具、写真など。写真は世界各地で撮影されたもので、人や風景、花、動物など48点です。生前に本人が書いた解説文が付いています。人や動物の営みに込められたメッセージを強く感じる写真ばかりで、訪れた人は立ち止まって1枚ずつ見入っていました。

この企画展は、5月25日まで開催されています。